

聖ミカエル国際学校の こどもたちと復活祭

司祭 ポールマイケルトルハースト



英国国教会の伝統ある学校として、神戸聖ミカエル国際学校のこどもたちは、復活祭の時期になると、毎年テーマに沿った行事や楽しい活動で一週間を過ごします。

これは、信仰の有無に関わらず、こどもたちがイエス様の死と復活について学び、どうしてそれが善いことなのか、自分にとってどう意味があるのかを理解

のかを理解し、復活祭の物語から生き方などを考える機会にしています。

この一週間は、イエス様の生涯から始まり、いろいろな物語がどのようにイエス様と結びついているのか、なぜその出来事が発生したのかについて説明していきます。

これは、復活祭の伝統や象徴の意義をこどもたちが理解

するのに役立ちます。

週の初めはこどもたちがイースターバスケットのデザインと飾り付けをします。

その後それぞれの籠に卵を入れ、校庭で「エッグハント(卵探し)」を行います。

復活祭に行うこの遊びは、どの年齢層でも楽しめるので、英国の家庭では親しまれています。

聖ミカエル国際学校では隔年ごとにこどもたちで復活祭をテーマにしたジオラマと、好きな材料でデザインできるイースターボンネットを製作します。

こうした美しい作品の数々を自ら作り上げることで、彼らは新しい命の象徴である復活祭に込められた意味をより深く体感していくのです。

英国で復活祭における数々の行事は人気がありますが、他にも多くの催しや、一般に行われているゲームなどがあ

ります。例えば、「エッグローリング(卵転がしゲーム)」は、ゆで卵を坂道やコースに転がしながら競争し、「エッグ&スプーンレース」は、スプーンの上でゆで卵を乗せて、落ちないように距離を競うものです。案外難しいですが、ぜひ挑戦してみたいかがでしようか？

聖ミカエル国際学校に話を戻しましょう。

復活祭のお楽しみ行事が終わると5年生による簡略化された「十字架の道行き」が行われ、校訓の「努力、思いやり、誠実さ、寛容さ、尊敬、責任感」とリンクさせるため、こどもたちは、イエス様の受難の重



要性を知るだけでなく、主が私たち全員に、他者を愛し、奉仕し、思いやることを望んでおられること、そしてそれは、学校でも家庭でもできると学べるのです。

何より私には聖ミカエル国際学校でのこうした活動こそが、復活祭というイエス様の尊い犠牲によって得た新しい命―イースターを楽しむこどもたちの笑顔―とともに、心から祝福するべきものであると思えるのです。

ハッピーイースター！

(聖ミカエル国際学校
チャブレン・理事長)